

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：12/21～12/25

・12/21(月)

コロナ感染、イギリスでコロナ変異種、菅総理インタビュー、吉川元農水大臣、来年度予算案、ソフトバンクの新料金プランなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、コロナ感染については放送法上問題と考えられる点が見られるものでした。また、コロナ感染および来年度予算案については検証者の所感を記しました。

・12/22(火)

新型コロナ、桜を見る会、ソフトバンクの新プランなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、新型コロナについては放送法上問題だと考えられる部分が見られました。また、桜を見る会については今後も注視が必要と考えられるものでした。なお、新型コロナおよび桜を見る会については検証者の所感を記しました。

・12/23(水)

新型コロナ、桜を見る会と吉川元農水相の疑惑、コロナと ICU、袴田事件の再審などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、新型コロナおよび桜を見る会と吉川元農水相の疑惑については他の放送日との併せての評価が必要と考えられるものでした。なお、新型コロナについては検証者の所感を記しました。

・12/24(木)

桜を見る会、新型コロナ、日本学術会議、黒川検事長の処分などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、桜を見る会については今後も注視が必要と考えられるものでした。また、新型コロナについては一定期間通じて検証をした所、放送法上問題だと考えられるものでした。

・12/25(金)

本日は A-Studio の放送のため NEWS23 の放送はお休みでした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年12月21日
出演者：星浩、小川彩佳、村瀬健介、山本恵里伽、石井大裕、高橋尚子 菅義偉（内閣総理大臣）		
検証テーマ：コロナ感染、イギリスでコロナ変異種、菅総理インタビュー、吉川元農水大臣 来年度予算案、ソフトバンクの新料金プラン		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染 ・イギリスでコロナ変異種 ・菅総理インタビュー ・吉川元農水大臣 ・来年度予算案 ・爆笑問題太田さんの裏口入学を巡る記事の裁判 ・スポーツ報道 ・ソフトバンクの新料金プラン ・林家こん平さん死去 ・天気予報 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染：結論→問題あり <p>小川キャスターの「まずは、医療関係者が強い危機感を示したこちらのニュースからです。」とのコメント、山本キャスターの「今日、夕方、日本医師会など9つの医療団体が共同で記者会見を開き、このままでは通常の医療を提供できなくなるとして、医療の緊急事態宣言を発表しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p>中川俊男（日本医師会会長）「日本が誇る医療制度が風前の灯になっています。今、やらなければならないことは新規感染者数を何が何でも減らすことです、コロナに大手を振って新しい年を迎えさせるわけにはいきません。本日、我々医療関係団体は医療の緊急事態を宣言します。」</p> <p>ナレ「衰えない感染拡大の勢いに今日、医療関係9団体が揃って異例の会見を開きました。9団体の代表は口々に国にさらなる強い対策を出すように迫りました。」</p> <p>"尾崎治夫（東京都医師会会長）「ここで、感染者数を減らさないと日本の医療、東京の医療はやはり逼迫して、救うべき人が救えなくなる、明らかな状態になってまいりました。新たな有効な対策をそういう打ち出していきたい。」</p> <p>相澤孝夫（日本病院会会長）「ぜひ国が、先頭に立って、そして国と地方自治体が連携を持って、是非、国民の皆さんの移動を制限することや行動を制限することを政策としてやはり掲げていかなければダメではないか。」</p> <p>ナレ「今日、全国で新たに確認された感染者は1808人、東京都では新たに392人の感染が確認されました。月曜日としては最多です。20代と30代がおよそ半数を占めました。既に年末年始コロナ特別警報を出している東京都では小池知事が夕方、臨時の記者会見を開きました。」</p> 		

"小池百合子(東京都知事)「今年の年末年始というのは何よりもまず、命を優先していただき、皆さんが大切にしておられる家族、周りの方の命、そして自らの人生、守っていただきたい、そして今年の年末年始は家族でステイホーム、お買い物、そして通院、というどうしてもという場合を除きまして、外出はぜひとも自粛をお願いを申し上げます。」

ナレ「東京都は年末年始に診療や検査を行う医療機関には4時間当たり15万円を支給、調剤薬局には一日3万円を支給します。また、新型コロナの入院患者を受け入れた医療機関には患者一人につき重症の場合で一日30万円、軽症中等症で7万円を支給するという事です。高止まりする感染者数に政府のコロナ分科会の尾身会長は。」

"尾身茂(コロナ対策分科会会長)「感染が拡大している首都圏を鎮火させない沈静化の方向に向かわないと全国の幹線を鎮火することはできない、地方においても歓楽街のクラスターがまた多くなってきている、ということで首都圏から感染が行って、そこからまた定着するというかそこでまた感染が広がっている。」

ナレ「改めて飲食の場での感染対策を徹底するよう呼びかけました。」

このトピックについて当てられた時間は270秒だった。

医療提供体制の緊急事態宣言ということで、医師会はじめとした医療関係者の利益団体・圧力団体の声を取り上げられていた。ところで、高リスクとされている高齢者は年金があり、この年金というのは現役世代の所得と比べると実体経済の影響を受けにくい。また、医療機関についても国民皆保険制度によって実現する低い窓口負担のため、実体経済の影響を受けにくい。

他方で、移動や行動を制限するという事になれば、当然のことであるが経済活動は萎縮することになるので、現役世代にとっては行動規制による負担感に加えて経済の萎縮の影響から経済的負担も生じることになる。また、経済が萎縮すればその分だけ税収は落ち込み、また経済の萎縮が倒産や失業につながれば社会保障費などの歳出は増加する。そして、そうした中で社会保障制度を維持しようとした場合、国債を増発し財源を確保する必要が出てくるが、それは将来世代あるいは現在生きている人々でも比較的若年世代に対する負担の転嫁にほかならない。

しかしそうした実体経済上の懸念というのは取り上げられず、あまりにも実体経済から距離をおいた立場に偏った報道となっており、放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」および同四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点で不十分なものと言わざるを得ないものであった。

・イギリスでコロナ変異種：結論→特に問題なし

山本キャスターの「三度目の事実上のロックダウン、都市封鎖が始まったイギリスでは変異した新型コロナウイルスが猛威を奮っています。感染力が最大で7割ほど強いと見られていて30カ国以上がイギリスとの往来停止などを発表する事態となっています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

"ジョンソン首相「不確定なことは多いが新たなヘニ酒は従来と比べ感染力が最大で70%強い可能性がある。」

ナレ「イギリスのジョンソン首相が警戒を呼びかけたのは新型コロナウイルスの変異種、最初の発生は9月半ばと見られていて、今月中旬にはロンドンにおける感染の6割以上を閉めています。」

ハンコック保健相「残念ながら変異型ウィルスを制御できなくなった。」

ナレ「首都ロンドンでは 20 日から事実上のロックダウンを停止、その一方で変異種の感染拡大を受け、フランス・イタリアなどのヨーロッパ諸国の他、中東やカナダなど既に 30 カ国以上がイギリスとの往来を暫定的に停止するなど発表しています。変異種が最初に確認されたイングランド南東部を訪ねると。」

西村匡史（報告）「ケント州のこちらの病院では新型コロナウイルスの患者が急増しているため、受け入れ体制は逼迫してます。」

ナレ「地元紙はこの病院の職員の話として先週のある時点では救急車 18 台が列をつくっていたと報道、救急患者を受け入れられない病院もでてきています。」

ケント州の住民 A「(変異種は) 感染が拡大しやすくスピードも速いので心配。」

ケント州の住民 B「親戚と集まる予定があったが政府の方針を受けてキャンセルした。」 "

"ナレ「変異種が確認されたことについて感染症の専門家は。」

松本哲哉（国際医療福祉大学主任教授）「日本でも例えば国内で検出されているウィルスを調べていくとだいたい二週間に一回くらいは変異が起きているんですね、それは相当な人がどンドンウイルスが感染していけば誰かのところでは変異は起こるんでう s ね。」 "

"ナレ「イギリス政府は今の所、重症化率や死亡率が高くなったりワクチンなどの有効性に影響したりする証拠はないとしています。一方で WHO によると変異したウィルスはヨーロッパの他、オーストラリアでも確認されています。」

松本哲哉「例えば病原性、毒性ですね、そういったものまで強くしたりとかあるいはワクチンが効かなくなったりとか、大きな性質の変化はたぶん起こっていない、というかまだ証明されていないので、こう裏付けるようなデータはない、ということだと思います、今の段階で、まだ検証はできていなくても国内に持ち込まれることはしっかり防ぐということがまず大事なことであると思います。」 "

このトピックについて当てられた時間は 207 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・菅総理インタビュー：結論→特に問題なし

小川キャスターの「さて、ここからは菅総理へのインタビューをご覧ください。今お伝えしました新型コロナの変異種への対応や感染拡大防止のための GoTo 停止の次なる一手は何なのか、さらには桜を見る会を巡る問題、そして学会会議の任命拒否問題など 20 分あまりお話を伺いました。ノーカットをご覧ください。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"小川彩佳「総理、今夜はよろしくお願ひします。」

菅義偉「よろしくおねがいします。」

小川彩佳「あの、おもに新型コロナをめぐる対応についてお話を伺って参りたいと思っっているんですけども、その前にまずイギリスから非常に気になる発表がありました。あの従来のものより感染力が強いという新型コロナの変異種が拡大しているという報告があったということですけども、総理にはどのような報告があったんでしょうか。」

菅義偉「あの、英国政府の発表を踏まえてですね、直ちに厚生労働省で、ウィルスの専門、厚生労働省のウィルスの専門家、国立感染症研究所ですが、ここですぐ対応しました。で、対応した結果ですね、同じような変異を

したウィルスは現時点においては無いと、そういうことの報告を受けています。」

星浩「ヨーロッパとか中東で入国停止措置をやっていますよね」

菅義偉「ええ。」

星浩「そこは日本はどうですか。」

菅義偉「ここは、イギリス政府と緊密に連携をしながら、ただ現時点において、上陸拒否対象国に今なっていますので、特別な方限り、ですよ、日本に入ってくるのは、例えば、日本人の方でイギリスに住んでいらっしゃる方とか、1日一人か二人だそうです。それで、阻止した時にももちろん検査します、それで陰性でも14日間隔離します、そういう体制でありますので、そこは大丈夫だという不逞に思っています。」

"小川彩佳「では今後水際対策を強化されるというお考えは今のところは。」

菅義偉「あの、ですから今のままの中でただ1日一人くらいですか、そこは対応できますけれども、更に厳しくする方向というのは当然イギリスとの間で今、交渉しています。」

小川彩佳「そして国内では新たな感染者が連日3000人近くというなかで非常にこの感染が拡大している、これが止まらない傾向が続いているわけですが、残念ながら、これまでの感染対策、成功とは言えないと思うんですが、振り返られまして、総理としては何が足りないというふうにお感じになっていませんか。」

菅義偉「まあここは非常に難しい、ですよ。ただ、過去の今日までの学習効果でやはり飲食、ここを重点的にやろうというところが可能性としては高いだろうと先生方思っていますので、そこを中心にですね、今やっています。確か勝負の三週間、これ終わった後も増えてはいますが、当時は東京大阪札幌、この三件だった、いま、15件くらい、都道府県にどんどん広げて、この人職の時間短縮を要請しています、で、国もですね地方自治体の人がそうしたことをできるように、従来は最大60万円の応援だったんですけれども、今、120万にしました、まああとkに年末年始がありますので、まあそういう形で多くの地方自治体からですね、そういう支援のお金に心配なくできる体制というのをいま作っているという、まあそういうことです。」

"星浩「本来あの、年末年始というのはですね帰省をしたりとか、遊びに出かけたりですね、それから商売の人も年末年始で商売をやろうという人が多いわけで、本来ですとね年末年始にもうちょっと活動できるようにそれこそ勝負の三週間の頃にもうちょっと厳し目の対応をやっていたら、まあちょっと仮定の話で恐縮ですがそれでもそこでもっとブレーキを踏んでいけば、年末年始もうちょっと楽しく過ごせたのではないかと、そこはその政府の判断にちょっと抜かりがあったのではないかと。」

菅義偉「これ、ただ私も判断をして実行に移す場合ですね、専門家の委員会があって、その先生方から提案を頂いた中で政府としての対応をしてきた、まあそういうときもステージ3、まあ感染拡大が増えているというので、ここについては時間短縮ということでさっき言った東京とか大阪、札幌、三箇所ですね、当時、まあそこは時間短縮でやっていますよ、と。それとGoToトラベルについても一旦停止をしたら、ということの提案を頂いていましたので、今、そこは停止にしております。さらに、愛知県でもそうですかね、それとまあ年末年始については全国でGoToトラベルについては一旦停止をさせていただく、まあそういう判断をいたしました。」

"星浩「まああの、連日世論調査で支持率が下がってですね、その感染対策を評価しないという国民の声も出ているんですね、それからもう、総理の会食についても批判が出ている、まあその会食そのものということもさることながら、私はその感染に対する恐怖とかですね、それから商売がなかなか難しくなった、それから医療現場の人たちが非常に悪戦苦闘している、そういう悲鳴のようなものですね、総理に届いているのかどうか、非常に

気になるんですね、そこはどうでしょうか。」

菅義偉「あの、私どもですねやはり例えば今回、飲食に時短をお願いする、そうした方に年末年始のある意味では一番のかきいれ時ですから、そういう意味合いでまあ協力金といいますかね、補償も最小ですけども倍にさせていただくとか、あるいは病院ですね、今非常にこれ逼迫をしています、そこで今度の新しい経済対策で1兆4000億円、コロナのために例えば病床を開けているところとか、そういうところの支援策として対応しております。それとか、あの、他の病院からコロナ対策の病院に応援に行く場合、これも医師、看護師のですね、その支援金というのを、これも倍にしました、まあこういうことをやらさせていただいて、少しでもそういう応援をできるような環境というのを今作っています、それと後は逼迫している保健所にも国から応援に行くですとかね、あるいは北海道とか大阪ちょっとひどかったですね、そういうところに政府から派遣に出したり、また自衛隊を出すとか、そういう体制をしっかりと整えさせていただいているんです。」

"小川彩佳「そうした手を打って..

星浩「あの、官房長官のときにね、毎晩その2階建てというので情報収集を指示されたのを私も取材をしてご存知だと思うんですけども、やっぱり総理大臣と官房長官は違いますのでね、総理大臣は毎日総理動静が全国民に見られるわけですよ、そのへんやっぱりちょっと注意を怠ったなという意識はありませんか。」

菅義偉「あの、ただこの間ですね、今話題になっているのは、やはりこれは本当に大なる反省をさせていただいています、ただ私自身、当初まあ今まで、食事会食というよりも色んなお話を伺う、まあそういうことで知識を入れながら、何が一番対策したら良いのか、まあそういうことをやってきました。でもやはり、今度のことをきっかけにですね、まあ慎重に、色々考えながら行っていきたい、このように思います。」

"小川彩佳「様々なこう手を打ってこられたというのは先程のお話にもありましたけれどもそうした手があったにも関わらずやはりその世論調査などで、今日も朝日新聞の調査で39%という支持率が急落している、こうした国民に届いていないというのはどういうことだとお考えですか。」

菅義偉「あの、まあいずれにせよ、結果ですから。やはりこのコロナ対策、結果を出すことが大事だという不甞に思っています。やれることはすべてやるというですね、意識の中で先頭になって取り組んでいきたい、こういう不甞に思っています。」

星浩「緊急事態宣言、知事会からですね、場合によってはそういう事も考えざるを得ないんじゃないか、という見方も出ておまして、総理の頭の中ではそういう危機管理というのは最悪の事態を考えるということからすると緊急事態宣言というのはちょっと頭の片隅にはあるんですか。」

菅義偉「まあいずれにせよ、先程にも申し上げていますがけれども、やはり尾身会長を中心にそうしたことについては相談をさせていただきながら、政府の対策を行っているんですけども、まあ先般、尾身先生はですね、まだそこはないということを言ってもらったと思います。」

星浩「緊急事態宣言じゃない場合はGoToの全面停止というのは決めたんですけども、それ以外になにか打つ手はあるということですかね。」

菅義偉「やはり、飲食店の時間対策、時間短縮ですね、これは先生方のいう評価は高いんです、ですから、そこをまあ中心にですね、これ交付金も要していますんで、地方自治体の皆さんはそういう協力金を全く心配しないでそうした短縮を増えてきているところについてはやってほしいなと思います。そうしたところに、国としても毎日こう連携しながら増え始めそうだとか、そういうところに事前に対応策というものをお話をさせていただ

いている、まあそんな状況です。」

星浩「そうすると飲食店の時短営業で10時までのところを8時までにするとか、そういういろんな対策は検討の余地があるということですよ。」

菅義偉「大いに広めていきたいとお見おます、ここは非常に効果があるということを委員会の先生方から提言をいただいていますので、そこを中心にやっていきたいというふうに思います。」

"小川彩佳「あの、今後の鍵となってくるのはやはりワクチンですけれども、世界では既に接種が始まっています。日本では早ければ2月にもという話もありますけれども、総理はいつ頃というふうに考えていますか。」

菅義偉「まず、ワクチンについて米国の会社から12月18日に特例承認求める申請があり、また国内治験では2回の接種、既に終わっています、そして来年2月までに主要なデータ、これは取りまとめられる予定であります、今後、治験などの調査で得たデータ、しっかり審査した上でですね、全国の国民の皆さんに、人数分だけは確保していますので、体制は整えてある、ただその場合はやはり安全性、有効性、こういう確認も大事ですから、そうしたことを確認できたら一挙にスタートできるようにですね、今官邸にその対策チームを作っています、例えば厚生労働省だけではこの、その70台ですかそれを運ぶ車、ここは国土交通省、地方自治体をお願いするところは総務省とか、まあその運ぶ車の冷凍庫を作るのは経済産業省、これ全部分かれています。そこは官邸にしっかりしたチームを作って安全を確認されたら一挙にこの接種できるようなそんな体制を今作っておるようなところですよ。」

"小川彩佳「さてここからは来年まで続いていくその他のお話を伺ってまいりたいんですけど、国会ですよ。」

星浩「まず、いくつかそのテーマがあるんですけど桜を見る会、ここに来ていろいろ安倍総理が国会招致とかいう話がありまして、もちろんそれは国会で決めることなんですけれども菅総理について二点、私がお聞きしたいのはですね、一つはそのやっぱり七年八月官房長官やられて、安倍総理のそばにいらっしゃってですね、この桜を見る会の公私混同についてその部分について総理ちょっとここは問題ですよ、というその諫言をすることはできなかったのかどうかということが一点と、もう1つは総理ご自身もですね国会であの、安倍総理が答弁したことが正しいんだと断言されたこともあったりして、総理ご自身の国会答弁に対する責任というものもあるんですけど、この二点についていかがでしょうか。」

菅義偉「あの、桜を見る会、これ長年こう続いてきていますよね、そういう中であれだけ広いところですからやはり多くの人に来ていただいたら良いな、とまあそんな感覚でやっていました。総理自身は、そこでまあいまテレビ映っていますけれども主催者挨拶をして、これ海外のそれぞれ高官の方とか来ていたんですけど、そういう意味で特別その目立った注文というのは、そういうのはなかった、気が付かなかった、なかったと思います、それと私の国会答弁ですけども、やはりまあ政治家という閣僚ですよ、政府委員は自分の国会答弁にはやはり私は責任を持つべきだと、そこはそういう不逞に思っています、ただ、今はまだ刑事告発がされて操作が行われている最中ですから、どういうふうになるのか、よく分かりませんので、そこは国会の答弁について、やはり責任を持つべきだということは私は閣僚になってからずっとその思いで今日まで来ています。」

"星浩「その政治家にとって責任という言葉は非常に重い言葉だと思うんですけども、総理がその責任を果たすという場合はどういう事を考えているんですか。」

菅義偉「いや、ですから、答弁が正しかったかどうかは分かりませんから、私、正しいと思っていますから、そこがどのようになるかということによって違ってくるだろうと思います。」

星浩「それから、あのこれはまあ来年に持ち越しになると思うんですけども、学術会議の問題、私も言論にずっと携わってきた人間としてですね、一つ気になるのは総理はこれはその内閣の人事権の一つだということなんですけれども、その例えば、経済政策で総理がその役所の局長を変えるということであればですね経済政策がうまく行かなかった場合は政治家が責任を取ればいいわけです、学問についてはですね、例えば、今、言っている学説が10年後に実は正しかったということもあるわけで学問にとってその政治家の人事の在り方はその局長の人事とちょっと違うんじゃないかと私は思うんですけども、そこはどういうふうに考えていますか。」

菅義偉「あの、私もそこはですね、この学術会議について、私ずっと疑問に思っていたのはですね、特定の大学にもものすごく偏っているんですね、出身校に、これ、1949年にできましたから、そこからまだ中々変わっていないのじゃないのかなと思っていました、それで会員の人というのは210人いらっしゃるんですね、その科に協会員ですかね、が、2000人いて、この人達の枠の中に入っていないければ、推薦をされない仕組みなっているんですね、会員になれない仕組みなんです。」

小川彩佳「今回任命拒否された慈恵医の先生などは、まあ慈恵医の先生はお一人しかいらっしゃらなかったわけですよ。」

菅義偉「いやあの、全体の中で出身大学とか、色んな中でやはり2200人の方と何らかのつながりがないとなれないんです、それで、そういう研究生とか学者といわれる方は日本に90万人いるんです、ですからやめる方が推薦してやめる時に行けるとかやはり私ここはですね、私自民党総裁占拠の時に、縦割、既得権益、悪しき前例主義これを打破したいという思いでした、まあそういう中で、この90万人もいらっしゃる中で限られた人の中からこう毎年毎年選ばれてくることについては私はそこは疑問に思っていました、そういう中で、その国会で答えを答弁を控えさせていただきます、と言われましたけれども、任命すると公務員なんですよ、ですから公務員、なぜ理由をよく聞かれるんですけども、こういう理由で駄目だから任命しませんでした、とはいうべきではないと思っています、他の公務員と同じではありますから、ただ、この学術会議、国民から理解されてより良いものにしたいという思いは持っていて、まあ梶田さん、新しい会長、梶田さんとはそういう中で理解されて、国民から理解されてより良いものにしていきましょう、ということでは一致しているんですよ、今そうした方向に向けて井上担当大臣が、今、取り組んでいるとまあそういう局面です。」

星浩「あの、この6人の任命拒否の問題と学術の会議のあり方というのは私はややこう論点のすり替えだと思いますが、まあこれはおそらく来年も議論が続くと思います。」

小川彩佳「さあ」

星浩「最後の質問ですけども、来年いよいよ衆議院の任期が切れてきますよね、しかし一方で1月11日からの通常国会は課題が山積して、中々その通常国会中に解散のタイミングを伺うというのは難しいという気がしますけれどもそのへんはどう考えています。」

菅義偉「まあいずれにせよ、任期がもう10ヶ月しかないわけですから、それとやはりいちばん大事なのはコロナの問題だと思うんですね、ここはやはり感染拡大防止をできていないと私やるべきではない、だから仕事したいとこういうことをずっと言っていますけれどもまあそういう状況の中です、対応していく、まあこういうふうになるだろう、と思います。」

小川彩佳「ちょっとお時間が過ぎ始めているんですけども、コロナに対して、今月初めの総理の会見では今必要なのは安心感と将来の希望であると仰っているんですけどもまさにその通りだと思うんですね、で、そうし

た安心感がある将来の希望を感じられる言葉というのを国民は聞きたいという風に思っていると思うんですが、最後に総理ご自身の言葉でお聞かせいただけませんか。」

菅義偉「これはですね私は国民の命と暮らしを守るということをずっといい続けています。まあそういう中でですね、やはり、ワクチン、ワクチンが摂取されるようになればですね見通しというのもだいぶでてくるようになると思うんです、ですから、1日も早くそうした事ができるように政府としても全力を上げていま準備をしている、そういう状況でございます、そしてオリンピック、パラリンピックを迎えることができる、コロナと戦ってですね、勝った証としてのオリンピック・パラリンピックをしたいと思えますし、そうしたことでまた、コロナ禍の前の普通の暮らし、日常が早く取り戻すことができるように一生懸命頑張っていきたい、このように思います。」

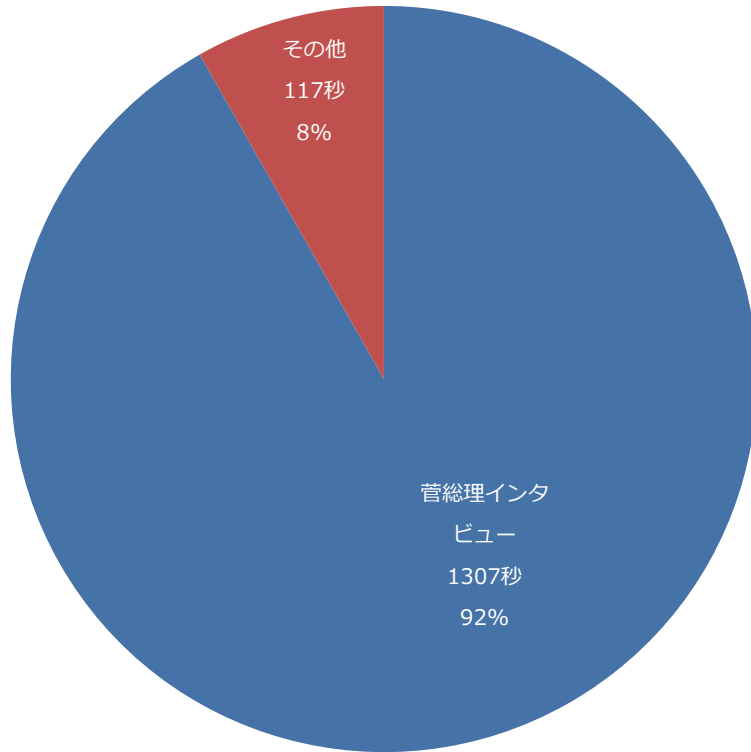
小川彩佳「菅総理、今夜はどうもありがとうございました。」

菅総理とのインタビューの VTR を受けて、スタジオでは以下に朱記したような VTR が取り上げられた。

"小川彩佳「具体的なことはいくつかできてまいりましたけれども、私たちが今求めている言葉と、総理が語る言葉のズレを感じるようなシーンも少なくなかったような感じるんですが、星さんいかがでしょうか。」

星浩「そうですね当面の対策としてはね、緊急事態宣言は慎重だとか、それからまあ時短営業によってこの局面を凌ぐんだという話ありましたけれども、おそらく多くの国民はその先にあるのは一体どうなんだというのを知りたいんですね、その GoTo が全面停止になった後どうなるのか、とか時短営業になった後大丈夫なのかっていう話、それからワクチンもね、どういうスケジュールでその接種できるのかという先の話だと思うんですけども、残念ながら将来展望はあまり聞かれなかったということで、最近のその支持率の低下もその目先のことだけじゃなくて将来の展望を示してくれよという国民のまあ要望それから不安がその支持率の低下に現れているんだと思いますね。」"

このトピックについて当てられた時間は 1424 秒だった。うち菅総理のインタビューの VTR に当てられた時間は 1307 秒であった。



先週は小池都知事との生中継でのインタビューが行われていたが、それと比べても特に遜色のあるものではなく、放送法上は特に問題はないと考えられる。

・吉川元農水大臣：結論→特に問題なし

山本キャスターの「鶏卵生産販売会社の元代表から現金を受け取った疑いが持たれている吉川元農林水産大臣が議員辞職する決意をしたと発表しました。」とのコメントを受けて、VTR が取り上げられるとともに、ナレーションによって「吉川貴盛元農水大臣は現在、慢性心不全などにより入院治療を行っているが近日中に手術を受けることが決まったなどするとコメントを発表しました。その中で吉川氏は『国民の付託にお答えする十分な活動ができなくなる、と思いこの際衆議院議員を辞職する決意をした』としています。吉川氏を巡っては広島県の鶏卵生産販売会社アキタフーズの元代表から現金併せて 500 万円を受け取った疑いを持たれていて東京地検特捜部が現金の授受の経緯について詳しく調べていると見られています。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 72 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・来年度予算案：結論→特に問題なし

来年度予算案について VTR が取り上げられるとともにナレーションによって「政府は一般会計の総額が 106 兆 6097 億円となる過去最大となる来年度予算案を閣議決定しました。歳出が膨らんだ要因として社会保障費と防衛費が過去最大となった他、新型コロナ対策の予備費として 5 兆円積み込まれました。一方、税収が減る中、新規国債の発行額は 43 兆 5970 億円と、当初予算として 11 年ぶりに前の年度を上回りました。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 38 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ソフトバンクの新料金プラン：結論→特に問題なし

小川キャスターの「NTT ドコモに続いてソフトバンクも料金プランを値下げします。」とのコメントを受けて VTR とともにナレーションによって「ソフトバンクが月額 2980 円で 20 ギガバイトのデータが使える料金プランを来年 3 月から導入する方針を固めたことがわかりました。ソフトバンクは 12 月に第二のブランドであるワイモバイルから 20 ギガバイトで月額 4480 円の新たなプランを発表していました。しかし今月 NTT ドコモが月額 2980 円の新プランを発表したため、対応を迫られていました。プランの詳細は明日にも発表される見通しです。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 46 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

- ・コロナ感染

東京都医師会の尾崎治夫会長の「ここで、感染者数を減らさないと日本の医療、東京の医療はやはり逼迫して、救うべき人が救えなくなる、明らかな状態になってまいりました。新たな有効な対策をそういう打ち出していきたい。」とのコメントが取り上げられていたがそもそも「救うべき人」というのはどういう人なのだろうか。診療報酬の大部分を負担しているのは目の前の患者ではなく、むしろその患者とは縁もゆかりもない現役の労働者や将来世代であるし、今回のコロナでの行動自粛要請でもまさに現役世代、実体経済が痛めつけられていて財政も逼迫することで将来世代への負担転嫁は一層進んでいる。そうした中で尾崎会長が実体経済や現役世代として働き税を収める人の暮らしを壊してでも「救うべき人」といつているのはどういう人を指しているのか、非常に気になるところである。

- ・来年度予算案

税収が減る中で、社会保障費が増え、これを補うために国債を発行するとのことであるが、そうまでして社会保障を維持することが将来世代にとってためになるのだろうか、甚だ疑問であると同時に、従来は納税者として財政に貢献できていたのにコロナ対策と呼ばれるものの中で経済社会活動が萎縮した結果、社会保障の受益者担ってしまったような人というのはどれくらい出てしまったのか、ということも気になるところである。

しかし、これだけ国債を発行した大盤振る舞いをしていて、これの償還の見込はあるのだろうか。返済の見込みなく現状維持のために借金をするというのは貧乏人が貧困から抜け出せない理由の一つであると思うが、日本財政は大丈夫なのだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年12月22日
出演者：星浩、小川彩佳、村瀬健介、山本恵里伽、石井大裕		
検証テーマ：新型コロナ、桜を見る会、ソフトバンクの新プラン		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ ・桜を見る会 ・木村花さんの母のインタビュー ・「天穂のサクラヒメ」大ヒット ・全国で火事が相次ぐ ・名古屋の駐車場でCO2 充満により男性作業員 ・三菱 UFJ 銀行で半沢頭取誕生へ ・ソフトバンクの新プラン ・韓国籍男性をタクシー運転手への強盗の容疑で逮捕 ・スポーツ報道 ・伊勢谷被告に有罪判決 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ：結論→問題あり <p>小川キャスターの「こんばんは NEWS23 です。今夜もまずは新型コロナウイルスをめぐるニュースからお伝えします、まずはこちらをご覧ください、12月に入ってから東京都の感染者数、日にちごとに示したものののですが、今日は563人、これで8日連続で曜日ごとの過去最多を更新したということになります、そして全国でこれまでに亡くなった方、3000人を超えました。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられた。</p> <p>"脇田隆字（厚労省アドバイザーボード座長）「大都市における感染を今抑制しないと地方での感染を抑えることも困難になっていきます。」</p> <p>ナレ「厚生労働省の専門家組織、アドバイザーボードの脇田座長は今夜、会見を開き、感染拡大を抑え込むためには静かな年末年始の過ごし方が重要だと改めて協調しました。」</p> <p>脇田隆字「静かな年末年始を過ごしていただくように適切なメッセージを強力に発信をしていく必要があると考えています。」</p> <p>ナレ「他にも医療関係者の訴えが。」</p> <p>尾崎治夫（東京都医師会会長）「勝負の三週間で過ぎましたけれども、本当に真剣に勝負したい、その三週間にしたいということで、真剣勝負の三週間と言わせていただきます。本当にこの三週間がラストチャンスだと私は思っています。」</p> <p>ナレ「日本看護協会は流行の第一波があった今年の春頃に行った看護職員の実態調査を報告しました。調査結果</p>		

によると病院全体の 15.4%で労働環境の変化や感染リスクなどを理由に離職があったと回答。特に、感染症指定医療機関では離職する看護師が 21.3%と、多い結果となりました。」

福井トシ子（日本看護協会会長）「第一波の時点でこのような状況ですから、最大の波が来ている現在、看護職員は心身の疲労もピークを迎えています。使命感だけでは既に限界に近づいていると言っても過言ではないと思います。」

"ナレ「新型コロナとの真剣勝負、こうした中、今日、東京都の新規感染者は 563 人と火曜としては過去最多を更新。千葉県や神奈川県などでも最多となった他、全国の重症者も 620 人と過去最多を更新しました。更に全国の死者は今日までに 3000 人を超えました。これは先週行われた東京都のモニタリング会議で示された感染者の療養状況を示したグラフです、緑は入院、水色は宿泊療養、黄色が自宅療養、赤が入院などの調整中の数を示しています。気になるのは自宅療養者や入院調整の数が日を追うごとに増加していることです。保健所や都の入院調整本部が一つ一つ病院をあたっているものの、連日難航、調整中に具合が悪くなり、救急車で搬送されるケースや翌日入院の手はずを整えていた患者が夜間に救急救命センターに運ばれるケースも出ていると言います。広島では今月 13 日に観戦が判明し、入院が必要と判断され自宅待機中だった 60 代の患者が翌日に死亡しています、この患者は咳や倦怠感があったほか、心筋梗塞や糖尿病などの持病が有りました。都の関係者は広島と同じような状況が東京でいつ起きてもおかしくないとしています。」

都の関係者「入院が必要とされても入院できずにやむをえず、自宅に留まる人が週末には 70 人以上出ています。入院滞日数を考慮せずんざりまでアクセルを踏み続ければ当然予想される事態が今起きているのです。」

"ナレ「感染を抑え込むために 5 人以上の会食自粛が求められている中。」

小林敏秋（西尾市議会「市民クラブ」会長）「私の不徳の致すところで軽率の行動を取りましたことを西尾市民に心よりお詫び申し上げます。」

ナレ「愛知県西尾市の市議会議員、14 人が酒を飲みながら宴会を開いていたとして、参加した市議が今日、謝罪しました。」

小林敏秋「何メートル離せばいいとか、それからどうこうすればいいという問題ではなくて、やった事自体が誠に申し訳なかったと、深く反省しております。」

ナレ「この宴会で挨拶だけして堆積した市長も謝罪しました。」

中村健（西尾市長）「深く反省をしているところであります、お騒がせをしてしてしまっただけで本当に申し訳ありません。」

"ナレ「一方で、アメリカではこの人が、バイデン次期大統領がワクチンを接種する様子がテレビの生中継で公開されました。安全性を国民にアピールするためです。」

バイデン（次期大統領）「ワクチン接種は大きな希望だ何も心配はない、二回目の接種が楽しみだ。」

ナレ「しかし、世界では新たな懸念も、トラック運転手の猪狩の理由は海を渡れないこと。」

トラック運転手「駐車場に行きたいんだよ。」

ナレ「イギリスとフランスを結ぶドーバー海峡で港が閉鎖されたのです。道路もこの遠オリ、通行止め、数千台のトラックが足止めを食っています。感染力が最大 7 割強いとされる変異種の感染がイギリスで広がっていることを受け、フランスが貨物の入国を停止したためです。」

セルビアから来た運転手「ここでねているんだよ、120 センチ×120 センチしかない」

ポーランドから来た運転手「バカなウィルスのせいで家に帰れない。3人の息子と妻がクリスマスに私が帰ってくるのを待っているのに」

ナレ「ロンドンではロックダウンに加えて物流が止まることへの不安も広がっています、スーパーではクリスマス間近というのに肉やパスタの棚はほぼ空っぽです、イギリス BBC によると EU 各国のほか、カナダやインドなど 50 カ国以上がイギリスからの航空便の乗り入れなどを停止しました。ドイツ北部の空港からロンドンから到着し、入国を止められた乗客たちが職員に詰め寄る場面を。」

乗客「なぜ飛行機はロンドンを出発したんだ、これじゃまるで囚人だ。誰もこうなると入ってくれなかった、事前に情報はあったはず」

ナレ「結局、乗客たちは空港の待合ロビーで一夜を明かしました。WHO によりますとこの変異種はイギリスの他に、オーストラリア、アイスランド、イタリア、オランダ、デンマークで確認されています。」

テドロス (WHO 事務局長)「現時点で重症化率や致死率を上げるという根拠はない」

ナレ「ただ、イギリスの専門家からは従来のウィルスと違って子供も感染しやすいという指摘も出ています、日本の水際対策はどうなっているのでしょうか、今夜、成田空港では。」

"スタッフ「みなさんこちらで。」

ナレ「帰国者の検疫を行う職員はマスクや手袋、フェイスシールドに加えてガウンと帽子を着用、今日から防護対策が強化されました。」

VTR を受けてスタジオではいかに朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

小川彩佳「この水際対策について速報が入ってきました。日本政府はイギリスから帰国する短期出張者の待機免除措置を一時停止とする方向で調整に入りました。と言いますのもこれまで 7 日以内の短期出張者に対しては 14 日間の待機が免除されていたんですが、この免除措置を一時停止する、一旦辞める方向だということなので早ければ明日、正式発表のみ都市です、そしてもう 1 つこちらでも速報です EU、ヨーロッパ連合は加盟 27 カ国にイギリスとの不要不急の往来を避けるよう勧告しました。域国の移動については陰性証明や隔離措置などを取れば妨げないとし、物流の再開も認めています EU 全体として厳しい措置をとった硬いです、まあ様々な対応が出てきているんですけども、そもそも日本には外国人の方、どれだけ入っているのか、まずここを山本さん確認したいんですが。」

"山本恵里伽「はい、そうですね、出入国在留管理庁によりますと、日本に入国する外国人の数というのはビジネス上の往来を始めた 6 月以降徐々に増えていまして、10 月には 35000 人を超えました、そして 11 月とは言いますと 66000 人を超えたんですね、これ、160 以上の国と地域から入国しているということなんです。」

小川彩佳「これ、一般のいわゆる観光客の方なしでこの数字ということなんですよね。」

山本恵里伽「そうです。」

小川彩佳「結構多いなという印象を受けますけれどもやはり気になるのは変異種が確認されている 5 つの国からの入国者、どれだけいるのかということですよね。」

山本恵里伽「そうですね、まずイギリスから見ていきたいんです。11 月だけで 375 人の方が外国人が入国しているんです、これ平均すると 1 日 10 人以上入国の方が入国していることになるんですね。」

小川彩佳「10 人以上。」

山本恵里伽「その他の地域もご覧のような人数 (イタリア 155 人、オーストラリア 286 人、アイスランド 3 人、

オランダ 83 人、デンマーク 44 人) が入国しているんですね。」

小川彩佳「これ確認ですけれども外国人の方だけで。」

山本恵里伽「そうですね、外国人の方のみですね。」

小川彩佳「日本人の方で帰国される方はこの数字には入っていないということになります。」

山本恵里伽「入っていません。」

小川彩佳「この入国の際の対応というのはどうなっていますか。」

"山本恵里伽「基本的には日本に入国した際に空港で検査を受けまして、自宅などの決められた場所で 14 日間待機をするんです、ただこの地域の中でオーストラリアだけは入国拒否の対象外という風になっていますので、入国したときとくに症状がなければ検査を求められることはないということです。」

小川彩佳「そうですね、オーストラリアへの対応というところも気になりますけれども。」

山本恵里伽「そうですね。」

小川彩佳「星さん、政府の水際対策、強化する方向ですか。」

"星浩「そうですね、その入国に対してはそのオリンピックも有るし経済も動かさないといけないという配慮もあって、徐々に広げてきたんですね。ところがこの変異種の問題で明らかにフェーズが変わってきましたので、やっぱり水際対策を徹底しなくちゃいけないという時期に入りました。ただ、ちょっとヨーロッパなどに比べて遅いんですね、空港の防護服ですとか二週間の待機の徹底とかいうのをこれから動き出そうとしているんですけども、もうちょっとスピードアップさせていく必要があるんですね。」

小川彩佳「刻々とね、変わっていきますからね。」

スタジオでは 11 月の日本への入国した外国人から観光客を除いた人数は 66000 人を超えて 160 の国と地域からの入国があるとのことであるが、スタジオでは変異種からの入国者を取り上げてフリップで「イギリス 375 人、イタリア 155 人、オーストラリア 286 人、アイスランド 3 人、オランダ 83 人、デンマーク 44 人」とのことを伝え、それに対し小川キャスターは変異種の見つかった国からの入国がいかにも多いかのようにコメントしていたが、冷静に考えてこれらの変異種の見つかった国から 11 月の入国者を併せても 946 人であり、11 月の入国者のうち約 1.5%でしかない。一日あたりということではイギリスからの入国者は一日あたりでも 12~13 人程度でしかない。

そもそも全体の 1.5%しか見ず、98.5%については触れないで水際対策をどうこうという議論に展開されること事態もおかしいが、入国者の内訳で 1.5%のみを示して、残る 98.5%について触れていないということであれば、それはそもそも入国者についてほとんど語っていないということに等しく放送法第四条一項三号の「報道は事実をまげないですること」という点に照らしても非常に問題のある報じ方であると言えよう。

・桜を見る会：結論→今後も注視が必要

村瀬キャスターの「こちら 118 回、これは桜を見る会をめぐる野党が虚偽答弁だと指摘した安倍前総理の国会答弁の数です、この前夜祭を巡って東京地検特捜部は安倍前総理本人から任意で事情を聞いていたことがわかりました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられた。

"ナレ「今月 4 日、安倍前総理はこう話していました。」

安倍晋三（前首相）「誠意を持って対応していこうと考えております。」

記者「要請があれば応じる可能性がある、と。」

安倍晋三「今申し上げたとおりですね。」

ナレ「桜を見る会の前夜祭を巡っては去年までの5年間で参加者の会費で足りなかった分、800万円以上、安倍前総理が補填していた疑いがあります。この疑惑を巡って東京地検特捜部が安倍前総理本人から昨日までに任意で事情を聞いていたことがわかりました。安倍氏は国会でこれまで。」

"小川淳也（「立国社」会派衆院議員、当時）「みんなおかしいとそもそも思っているんですよ、そんなこときいたこと無い、となんだか不都合なことを言い逃れするため、隠すための隠蔽工作なんじゃないかとみんな思っているんです。」

安倍晋三（衆院予算委、2月17日）「私がここで話しているのが、まさに全日空側とのやり取りの真実でございます、それを信じていただけないということであれば、そもそもこの予算委員会が成立しないということになってしまう。」

ナレ「当時官房長官だった菅総理は安倍前総理の答弁をなぞっていました。」

"山井和則（「立国社」会派衆院議員、2月19日衆院予算委当時）「安倍前総理の虚偽答弁だけじゃなくて、菅官房長官の虚偽答弁にもなっていますよ。」

菅義偉（官房長官、2月19日衆院予算委当時）「なぜ私の答弁が虚偽なんですか。総理が、総理が答弁したことが正しい。」

ナレ「結局、野党側が虚偽答弁だと指摘する安倍氏の国会答弁は少なくとも118回にのぼることがわかっています。野党は安倍氏に国会で説明するよう強く求めています。」

小池晃（共産党書記局長）「118の虚偽答弁ですからね、108つの煩惱よりも多いんですからね。除夜の鐘聞いた後ではなくて、除夜の鐘を聞く前にちゃんと決着つけなきゃだめですよ。」

福山哲郎（立憲民主党幹事長）「秘書がやったことだ、私には報告がなかった、私は知らない、こんなことで済まされる話ではない。」

ナレ「特捜部は安倍氏の公設第一秘書について前夜祭の収支を政治資金収支報告書に記載しなかったとして週内にも略式起訴をするということを検討しています。任意の事情聴取に応じた安倍氏は補填への関与を否定したと見られます。特捜部は安倍氏の刑事責任を問うことは難しいとして不起訴にすることを検討していると見られます。」

"自民党の二階幹事長は。」

記者「任意の事情聴取を行ったとの報道が出ておりますが、その件についてなにか幹事長お聞きになっているでしょうか。」

二階俊博（自民党幹事長）「聞いておりません、これはご本人が考えておられるでしょうから、それを待ちたいと思います。」

ナレ「政府与党内には一連の問題を来年の通常国会に持ち越したくないとの思いがあり、安倍氏の国会での説明は司法の判断を待った上で年内にも行われる見通しです。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「安倍前総理が事情聴取を受けたということですからけれども秘書が略式起訴で本人が不起訴というこの流れは揺るがないのでしょうか。」

星浩「まあ政治資金規正法についてその捜査のことで私思い出するのは28年前のことなんですけど、当時、私自民党を担当していたんですけれども、当時、自民党の金丸副総裁という人がね、5億円の闇献金を貰いながら不記載だったということでそれに対して20万円の罰金で終わったということがありましてね、これ、国民の反発を買いましてですね検察庁の看板にペンキが投げられるという事件が起きたんですね、検察の活動というのは国民の信頼がないとできないわけですし、まあ今回、その徹底した捜査をまずは行ってもらいたいと思いますし、その不起訴にするのか起訴にするか決めるにあたってはね、非常に丁寧な説明をしてもらいたいと思いますね。」

小川彩佳「そうですね、そして今後はどのような展開を迎えるのでしょうか。」

星浩「自民党派ですね、安倍総理国会で非公開の場で説明すればいいんじゃないかと、それも年内にそれをやってもう決着というラインを狙っているんですが、野党側はいや国会に来て公開の場、できれば予算委員会で説明すべきだと対立しているんですね、しかし今回118の虚偽と思われる答弁があった、これは国会の議事録に残るわけですよね、この事実は非常に重いので自民党もそのへんをきちんと考えてもらいたいと思いますよね。」

このトピックについて当てられた時間は342秒だった。

説明の場がどこになるのかはわからないが、この問題については今後も注視が必要と考えられる。

- ・ソフトバンクの新プラン：結論→特に問題なし

ソフトバンクが新プランを発表したことについて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

「榎葉淳（ソフトバンク副社長）「オンライン専用の新しいブランドでございますが”Softbank on LINE”」

ナレ「ソフトバンクがNTTドコモに続き月額2980円で20ギガバイトを使える新しい料金プランを発表しました。来年3月から提供する新ブランドでは高速通信の5Gも利用可能で契約などの手続はラインのアプリ上などオンラインを基本とします。」

このトピックについて当てられた時間は34秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

- ・新型コロナ

小川キャスターが「こんばんはNEWS23です。今夜もまずは新型コロナウイルスをめぐるニュースからお伝えします、まずはこちらをご覧ください、12月に入ってから東京都の感染者数、日にちごとに示したものののですが、今日は563人、これで8日連続で曜日ごとの過去最多を更新したということになります、そして全国でこれまでに亡くなった方、3000人を超えました。」とコメントしていたが、日本というのは人口が1億人以上いて、年間死亡者もざっくり100万人以上いる国である。そうした中でコロナ死者というのは人口比率で言えば0.003%程度、年間死亡者の割合で言っても0.3%でしかない。

こうしたざっくりとした大まかなデータが脳裏をよぎった時、確かに医療現場は大変なのだろうが、数字ベースで考えた場合はやっぱり大多数の国民にとってはかなりの程度、他人事と言ってしまうのではないかと言う気もするし、深刻な表情で語る小川キャスターははじめとするスタジオの皆さんが実は数字に弱いのか、あるいは実

態以上にコロナというのを脅威であるように見せたがっているのか、という気がしてしまってならない。

ところで東京都医師会の尾崎治夫会長の「勝負の三週間で過ぎましたけれども、本当に真剣に勝負したい、その三週間にしたいということで、真剣勝負の三週間と言わせていただきます。本当にこの三週間がラストチャンスだと私は思っています。」とのコメントが取り上げられていたが、これまでも散々「我慢の三連休」だとか「勝負の三週間」だと呼びかけられ、そのたびに敗北宣言もせずに次の「勝負の〇〇間」を打ち出して、今回も「勝負の三週間」が過ぎてその舌の根も乾かぬうちに「真剣勝負の三日間」と打ち出している。

敗北を認めない大本営発表を繰り返し、ズルズルと戦線を後退させていき、沖縄戦そして本土空襲やヒロシマ・ナガサキの原爆に至るまで敗北を認めず国体護持を掲げ講和をしようとしなかった旧日本軍と医療体制の維持を掲げズルズルと戦線を伸ばしていく今の医師会が重なって見えるのは気のせいだろうか。

・桜を見る会

村瀬キャスターがスタジオで「118回」という数字を強調し、VTRでも野党が「118回」を強調していたが、事実認識を問う質問をいくらししたところで、答弁者の見解は変わるものではないし、認識が変わらないのであれば、類似の質問を何度したところで答えは変わらないというのは当然であろう。むしろ答弁者の認識が変わらないのに答弁が二転三転するほうがおかしな話である。

118回の虚偽の疑いのある答弁というのは逆に言えば118回も野党から同じような質問が出ているということであり、野党の質問力の方にも問題があるのではと思わせる数字である。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年12月23日
出演者：星浩、小川彩佳、村瀬健介、山本恵里伽、石井大裕		
検証テーマ：新型コロナ、桜を見る会と吉川元農水相の疑惑、コロナとICU、袴田事件の再審		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ ・桜を見る会と吉川元農水相の疑惑 ・性別欄のない履歴書が発売 ・コロナとICU ・袴田事件の再審 ・妊婦の胎盤からマイクロプラスチック ・スポーツ報道 ・中国で火球 ・ダイヤモンド富士 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ：結論→他の放送日と併せての評価が必要 <p>小川キャスターの「こんばんは、NEWS23です。今夜もまずは新型コロナウイルスをめぐるとのニュースからお伝えします、今日確認されました新型コロナウイルスの全国の新たな感染者は3270人、亡くなった方は56人ということで、いずれも過去最多を更新しました。そして、ご覧いただいておりますように全ての都道府県で感染者が今日は確認されたのです、これは実は初めての事なんです、全国への広がりというのを感じますが、こうした中、政府のコロナ対策分科会が開かれましてマスクの着用率が低下しているという調査結果が明らかになりました。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられた。</p> <p>"ナレ「午後、東京都の小池知事の姿は自民党本部にありました、二階幹事長や佐藤総務会長、下村政調会長と相次ぎ会談、新型コロナウイルスの特べつ措置法の改正などを要請したのです。」</p> <p>小池百合子（東京都知事）「基本的に特措法、そして感染症法を早急に改正して欲しいということ。」</p> <p>ナレ「特措法の改正については今月20日の全国知事会でも議題に上がり、休業や営業時短要請に応じない店舗への罰則を設けるなど対策の徹底に必要な法改正を速やかに実現するよう国に緊急提言を行う方針を決めています、小池知事が早急に改正を望む背景には東京の感染拡大が周辺自治体への感染拡大にも影響しているという専門家の指摘があったのです。」</p> <p>脇田隆字（厚労省アドバイザーボード座長）「感染拡大の要因ですけれども、飲食などの社会活動が活発な20代から50代の世代の感染が多い、大都市圏を含め直近の感染拡大では飲食をする場合が主な感染拡大の要因だと考えています。」</p> <p>"ナレ「こうした中、今日発表された東京都の今日の新規感染者数は748人、過去2番目の非常に高い水準で重症者も昨日から5人増えて69人となっています、忘年会などの自粛が呼びかけらえるなか、きょう町で聞い</p>		

てみると。』

20代男性 A 「(マスク会食はどう?との質問に対し) できないんじゃないですかね、面倒くさい」

20代男性 B 「お酒飲んだら絶対無理、忘れちゃうと思います。」

30代男性 「実際難しいと思いますよね、食べて即マスク、ちょっと不可能でした」

ナレ 「実際、西村経済再生担当大臣は今月に入り、マスク着用率が低下していると指摘しました。」

西村康稔 (経済再生相) 「例えば、スーパーの中、あるいは公共交通機関、職場、それから屋外はリスクが低いとは言え、12月になってかなり落ちています。かなり、こう落ちてきていますので、改めて食事の場面も含めてですね、マスクの着用の徹底をお願いしたいという不逞に思います。」 "

"ナレ 「また、会社での飲み会について同じ部署の4人以下で時間を限定して飲食する場合と比べ、他の会社の人と時間制限なく会食した場合はおよそ1.5倍近くリスクが高まるとの分析を紹介しました。分科会ではイギリスで変異した新型コロナウイルスの感染が拡大していることも議論されました。」

田村憲久 (厚労相) 「英国からの新規入国について一時停止をすることといたしました。」

ナレ 「そのイギリスでは今、」

西村匡史 (報告) 「フェリーターミナルの閉鎖が続いているため、こちらの空港の滑走路はドライバーが滞在するための臨時的駐車場になっています。」

ナレ 「フランスの入国制限で足止めされている大型トレーラーは数千台に達しました。フランスはイギリスと協議し運転手などが入国前の72時間以内に検査で陰性を証明できれば入国を許可すると発表しました。」

シャプス (英運輸相) 「23日から検査を開始します検査がどこで行われるかは追って発表するのでいきなり行動せず支持を待ってください。」

ナレ 「感染力を最大1.7倍高めると言われる変異種、日本政府は明日24日から入国条件を厳しくすると発表しました。イギリスから新たに入国する外国人については 拒否する他、これまで7日以内の短期出張者に認めてきた帰国後14日間の待機を免除する措置も当分の間停止します、さらに今月27日以降にイギリスから帰国する日本人には出国前、72時間以内に検査を行い帰国後に検査証明書を提出するよう求めるということです。」 "

加藤勝信 (厚労相) 「国内での蔓延を防ぐため、機動的に水際対策を講じていきたいと考えております。」

"ナレ 「新型コロナウイルスの猛威は日本から遠く離れた南極大陸でも。」

チリ軍当局者 「PCR検査の結果で36人の陽性が判明した。」

ナレ 「南極大陸にあるチリ軍の兵士26人、そして保守作業に当たる民間人10人の併せて36人の感染が確認されました。これですべての大陸で感染が広がったこととなります。日本は今月19日、南極の昭和基地に第62次観測隊が到着したばかりでした。」

熊谷宏泰 (国立極地研究所南極観測センター副マネージャー) 「あつてはならないことが起こってしまったなどという風に考えています。チリの基地はですね、非常にチリの本国とも近い位置関係にありますので、人の往来というものが日本の基地という場合と比べますと非常に頻繁にされておりましてリスクは高かったんだろうというふうに考えておりましたね。」

ナレ 「感染が起きたチリの基地と日本の昭和基地はおよそ4000岐路離れていて往来はないとのことで現時点では日本側に感染が及ぶ可能性は低いと言います。そして日本では、今日、全国の1日の感染者数が3270人と過去最多となりました。都道府県別では埼玉県、岐阜県、香川県で過去最多を更新しております。西村大臣は東京

都を中心に来年1月11日までの大規模イベントについて人数制限の上限を一時的に原則5000人に戻す方針を示しました。」

西村康稔「サッカーとラグビーの大きな大会がありますので、それぞれ、関係者と私も直接話しをさせていただき、理解を得たところでもあります。音楽コンサートなどもですね、もう既にチケットの販売が終わっておりますのでこういったイベントなどについても改めて、今日、通知を出す予定にしております。」

ナレ「今年も残す所、あと1週間あまり、新型コロナウイルスとともに年をこすこととなります。」

中川俊男（日本医師会会長）「政府が今、緊急事態宣言を発令したとしても、第一波のときのような効果が期待できないかもしれません、あのときのような国民に未知のウィルス感染症に対する連帯感を持った危機感、緊張感を取り戻さなければならぬのです。そのことが新規感染者の増加を、減少に転じ、収束への突破口になるのではないかと考えています。」

VTRを受けて小川キャスターが「そして、先程会見を行った政府の分科会の尾身会長は現在、東京都がお酒を提供する飲食店などに対して要請している午後10時までの時短営業についてもっと早めるべきだと述べました。具体的な発信で踏み込んだ形です。」とコメントしていた。

このトピックについて当てられた時間は570秒だった。

放送法上の評価については他の放送日との併せての評価が必要と考えられるものだった。

・桜を見る会と吉川元農水相の疑惑：結論→今後も注視が必要

村瀬キャスターの「続いては桜を見る会の前夜祭をめぐる問題です、東京地検特捜部は安倍前総理を不起訴とする方向で調整していると見られることがわかりました。捜査中を理由に多くを語ってこなかった安倍氏ですが与党側は早ければ明後日25日にも公開の場で説明の場を設ける方針です。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられた。

ナレ「野党が指摘する118回の虚偽答弁、」

記者「捜査が終結した段階では総理ご自身からまた説明するというこでよろしいですか。」

安倍晋三（前首相）「こうした形ですか。あの、捜査が対応が決まった段階においてはですね、お話できることはお話しさせていただきたいと思います。」

ナレ「安倍前総理はどんな説明をするのでしょうか、桜を見る会の前夜祭を巡っては、安倍氏側が会費の差額分を補填していた疑いがあり、東京地検特捜部は安倍氏から任意で事情を聞いていました。野党四党は今日、安倍氏を証人喚問など国民に見える状況で説明させるよう、与党側に求める方針を確認。」

安住淳（立憲民主党国対委員長）「証人喚問をしても私はおかしくない状況に本人は今、置かれている、と。」

ナレ「与党側は証人喚問には応じない意向ですが、早ければ明後日25日にも公開の形で安倍氏が説明する場を設ける方針です。」

下村博文（政調会長）「安倍前総理もですね、そのように希望されているんじゃないかと思っておりますので、当然、年内にやったほうが良いというふうに思います。」

ナレ「一方、その捜査の行方、関係者への取材で特捜部は安倍氏の公設第一秘書については政治資金規正法違反の罪で週内にも略式起訴、安倍氏については不起訴という方向で調整していると見られることがわかりました。こちら捜査が進んでいます。吉川元農水大臣が鶏卵生産会社の元代表から大臣在任時に現金併せて500万円を

受け取っていたとされる問題、東京地検特捜部が吉川氏から任意で事情を聞いていた事がわかりました。吉川氏は疑惑浮上後、入院治療に専念する、として公の場に姿を見せず、昨日、議員辞職しています、特捜部は入院先の病院で本人から現金授受の説明を求めたものと見られます。

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「安倍前総理は明日の不起訴処分を受けて、明後日 25 日には公開の場で説明をするということなんですね。」

星浩「そうですね、自民党も流石に非公開の場では国民の批判も強いだらうと判断をして衆参両院の議院運営委員会というところで説明をするという段取りを組んでいるようですね、安倍さん 118 回の虚偽答弁があるんじゃないかと言われているわけですので、本来なら、安倍さんは衆参の議長に対して虚偽答弁をしまして申し訳ないと謝罪をした上で説明をするというのが私は筋だと思いますね、まあ安倍さんこれからおそらく補填については知らなかったんだといい通すんでしょうけれども、不自然な点が多いんですね、その点を野党側が追及して矛盾点を浮かび上がらせることができるかどうか、そこがポイントになってくるかと思いますね。」 "

このトピックについて当てられた時間は 231 秒だった。

仮にこの問題の議論の場が国会になるのであれば、国会質疑でこの件含めてどのようなトピックが取り上げられているのか、ということについては注視が必要であると考えられる。

・コロナと ICU：結論→特に問題なし

小川キャスターの「さあ変わって続いてなんですが、再び新型コロナをめぐりまして、感染者の増加が止まらない中、私たちはコロナ専用の ICU 集中治療室を取材しました。すると 9 つもの病院で受け入れを断られたという患者さんが運ばれて来るなど、逼迫した医療現場の状況が見えてきました。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられた。

"スタッフ「ここが今、コロナの患者さんが三人入っているお部屋になりますね。」

ナレ「川崎市の聖マリアンナ医大病院コロナ専用 ICU。一時意識がなかったこの男性患者は取材前日、ようやく人工呼吸器を外すことができました。」

スタッフ「食べられそうですか、久々のご飯ですね。」

ナレ「食事を摂るのは三週間ぶり、おぼつかない手付きです。」

理学療法士「今からリハビリをさせてください、大丈夫ですか。」

ナレ「応じる声は言葉にはなりません。そんな状態でもすぐにリハビリが始まります。」

理学療法士「頑張れ、10 まで行きましょう

清水剛治（救命救急センター医師）「たぶん、ご本人がめっちゃめっちゃしんどいと思いますけれどもなるべく早くから元の生活に戻るようリハビリやっついていかないと。」

ナレ「コロナ感染からの社会復帰は容易ではありません。その一方で病院には連日、新たな患者が運び込まれます。2 台の救急車で運び込まれたのは新型コロナに感染した高齢の母親とその息子です。コロナ病棟を指揮する森澤健一郎医師が状態を救急隊員から聞き取ります。」

救急隊員「咳の症状が強いということで救急要請。」 "

"ナレ「二人はここに搬送されるまで 9 の病院から受け入れを拒否されていました。」

スタッフ「あの、悪くなってしまった場合には人工呼吸器とか喉に管を入れるとか含めて全てさせていただくということで考えてよろしいですか？」

患者「はい、大丈夫です。」

ナレ「聖マリアンナ医大病院は本来、重症患者の治療に特化し、軽症や中等症の患者は地域の他の病院が受け入れることになっています。この親子はともに重症ではありませんが、」

森澤健一郎「今なんとか俺らで回せているけれども、これでうちらがアップアップになった時にお願いすることもあるから。このご時世だからしょうがないから。」

ナレ「受け入れが決まりました。症状に応じて受け入れる病院を振り分ける医療体制が今、崩れつつあるのです。」

森澤健一郎「システムから漏れちゃった人って一定数必ず出てくるんですよ SOS に対して簡単に言えば四の五の言わずに受ける、本当に行き先がない状態なんです。」

ナレ「この病院は今年 2 月から 160 人以上のコロナ患者を受け入れてきました。多くの医療スタッフがもう 10 ヶ月間も気の抜けないコロナとの戦いを続けています。若手看護師の山添美奈子さんは。」

山添美奈子（救命救急センター看護師）「なんか途中、あの終わりが見えるかなと思った時期もあったんですけども、まだ逆に増えてきているので、いつまで頑張れば良いんだろう、という感じです。」

ナレ「疲れていないわけはありません。それでも山添さんたちスタッフはこれまで多くの命を救ってきました。」

山添美奈子「患者さんが良くなったときとか、一般病棟に移ったりとか、そういうことが辛いことより売れいいので続けられています。」

ナレ「懸命の処置で重篤な状態を脱した男性患者、看護師が近づきます。」

看護師「じゃ写しますね。」

息子「お父さん見える。」

妻「元気？」

ナレ「届いたのは家族の声、病院では直接会うことができない家族との面会をタブレット越しの面会がつないでいます。」

息子「ご飯とか食べれてるの」

患者「食べれてる。」

息子「悪くなっていないってよお父さん。」

妻「良かったね、もうちょっと頑張るんだよ。」

ナレ「家族は明るい声で何度も男性を励まします。」

妻「お父さんの受け入れは万全だから帰ってきてよ、正月はちょっと無理かな、看護師さんや先生の話をよく聞いて、わかった。」

患者「わかったよ。」

妻「うん、よろしい。」

ナレ「新型コロナと戦う患者とその家族、そして医療現場。」

森澤健一郎「第一波のときって病院だけでなく社会全体がコロナと戦うために気持ちを一つにできたと思うんですよ。だけどその結果いろいろな人がいろいろな形で色んなことを失ってしまったと思うんですよ。続けられる未来を作っていく、というために僕も頑張るからみんなも頑張って、ぐらいしか思いつきませんけどね。」

ナレ「病院には全国から励ましの手紙がと説いています。」

森澤健一郎「やっぱり僕の言葉より、これをスタッフには見せるべきですよ。がんばりますよ」

VTRを受けて小川キャスターが「VTRに登場した看護師の山添さんは現状について『終わりの見えないトンネルにいるようだ』と、第一波、第二波のときより強い危機感を抱いていらっしゃいました。そのうえで、他人事ではないということが大勢の人に感じて欲しい、精一杯助けるのでそれまでみんなで頑張りましょう、と一つ一つの言葉を噛みしめるように語っていらっしゃったのが印象的でした。」とのコメントをしていた。

このトピックについて当てられた時間は480秒で放送法上は問題は見られなかった。

・袴田事件の最新：結論→特に問題なし

山本キャスターの「いわゆる袴田事件で死刑が確定した袴田巖さんについて最高裁は裁判のやり直しを認めなかった東京高裁の決定を取り消し、差し戻しを決めました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

ナレ「年の瀬に届いた喜ばしい知らせでした。最高裁からの通知を受け取り笑顔を見せる袴田巖さんの姉、秀子さん。袴田さんも支援者の声に耳を傾けていました。袴田巖さんは1966年に静岡県で一家四人が殺害され住宅が放火された事件で死刑が確定、しかし2014年、静岡地裁で再審開始が決定し、48年ぶりに釈放されました。検察側はこれを不服として即時抗告、そして2018年、東京高裁は鑑定には疑問があるとして静岡地裁による再審開始を認めない決定をしました。弁護側は最高裁に特別抗告をしていましたが最高裁は昨日付で東京高裁の再審を認めない決定を取り消し、改めて高裁で審理を行うよう命じる決定をしました。袴田さんの釈放も継続されることとなります。再審請求の争点の一つとなっていたのが犯行後に現場近くの味噌タンクから見つかった衣類に付着した血痕です。袴田さんのものとして認定され有罪の根拠となりましたが、最高裁は血痕の証拠的価値について審理が尽くされていないと指摘しました。」

秀子さん（袴田さんの姉）「嬉しいクリスマスプレゼントでございます。巖はもちろん無実ってということもあるけど最高裁でこういう認定をしていただいたということは大変ありがたいと思っております巖は85歳ですか、来年ね、私はね88歳です。たしかに高齢者ですが頑張っ参ります。」

VTRを受けて小川キャスターの「逮捕された時、袴田さんは30歳でいらっしゃったんですよ、あまりに長い月日だと思いますね。」とのコメントに対して星キャスターが「まあ今回、高等裁判所が再審を認めないという判決を出したのに対して、最高裁が考え直しなさいということで差し戻しをしたんですけれども、まあそういう意味ではその再審の道筋は見えただすけれども足踏みではあるんですよ。袴田さん84歳で残された時間、そう長いとは言えませんからねやはりここはなるべく早く再審を始めるといことが私は人道的判断だと思いますね。」と応えていた。

このトピックについて当てられた時間は191秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

・新型コロナ

VTR の中でも日本医師会の中川俊男会長が「政府が今、緊急事態宣言を発令したとしても、第一波のときのよ
うな効果が期待できないかもしれません、あのときのような国民に未知のウィルス感染症に対する連帯感を持っ
た危機感、緊張感を取り戻さなければならないのです。そのことが新規感染者の増加を、減少に転じ、収束への
突破口になるのではないかと考えています。」とコメントしていたが、まさに第一波のときに国民に連帯感があ
ったのは新型コロナが「未知のウィルス感染症」だったからではないだろうか。

確かにワクチンの実用化は未だ道半ばであり、そうした意味では「未知のウィルス感染症」と言える面もある
が、他方で、重症化リスクは高齢者や基礎疾患を持つ人々に偏在しているということや、無症状や軽症の場合は
「ただの風邪」と大差がないというようなことも明らかになりつつあり、現実問題として私たち一人ひとりの年
齢や基礎体力あるいは家族構成や働き方などライフスタイルによってコロナ感染症それ自体のリスクや被害と
いうのは非常にばらつきがあるということが明らかになってきている。

ゆえにこそ、もはや国民が連帯感を持ってない、危機感や緊張感にばらつきがあるというのは仕方のないことで
あり、医療提供体制側や政治の側がこうした国民に対して連帯を呼びかけるよりもむしろ、危機感や緊張感のば
らつきを前提に国民にとって受け入れやすい対策であるとか体制転換という選択肢も示していくべきときに来
ているのではないだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年12月24日
出演者：星浩、小川彩佳、村瀬健介、山本恵里伽、石井大裕		
検証テーマ：桜を見る会、新型コロナ、日本学術会議、黒川検事長の処分		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜を見る会と安倍氏の会見 ・新型コロナ ・クリスマスイブに医療従事者や困窮者へ支援の輪 ・コロナで苦戦する商品 ・日本学術会議 ・黒川検事長の処分 ・三菱UFJ銀行の半沢新頭取の会見 ・スポーツ報道 ・クイーン名曲で宇宙開発の仕事を紹介するVTRに本人も登場 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜を見る会：結論→今後も注視が必要 <p>小川キャスターの「こんばんはNEWS23です。桜を見る会前夜祭の費用補填問題を巡って不起訴処分となった安倍前総理は今夜記者会見を行いました。これまでの国会答弁が事実ではなかったということを確認、政治責任は極めて思いということを謝罪しましたが、議員辞職は否定しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「安倍前総理は今夜、初めてこの問題で謝罪しました。」</p> <p>安倍晋三（前首相）「このような問題となったことに対し、当時の行政府の長として、また政治資金の問題については本来率先して襟を正さなければいけない、自民党の党の総裁として、そして何より国民を代表する一国会議員として国民の皆様にして与野党すべての国会銀の皆様に対し深く深くお詫び申し上げたいと重み明日。」</p> <p>"ナレ「桜を見る会の前夜祭を巡って安倍氏側が会費の差額分を補填していた問題。これまで安倍氏は国会で事実関係を重ねて否定してきました。」</p> <p>"安倍首相（2月17日当時）「まさに政治資金の出入りはこれは透明化しなければならないわけでありまして、そのまさに考え方に則って私は政治資金の処理をしているということをはっきりと申し上げておきたい。」</p> <p>議長「内閣総理大臣」</p> <p>安倍首相（2月17日当時）「私嘘を申し上げているということであれば、嘘をついているということを説明するのはそちら側ではないのか。」</p> <p>"ナレ「ただ、安倍氏の答弁については事実と異なると見られる内容があったことが118階あったことがわかっています、」</p> <p>安倍晋三「事務所に幾度も確認をし、当時の私の知る限りの認識の限りのご答弁をさせていただいたつもりであ</p>		

ります、しかしながら結果としてこれらの答弁の中には事実に反するものがございました。それが故に国民の皆様への信頼を損なうこととなってしまいました。今般の事態を招いた私の政治責任は極めて思いと自覚しており、真摯に受け止めております。」

ナレ「東京地検特捜部は今日、前夜祭を主催した政治団体、安倍晋三講演会の代表で会計担当の配川博之公設第一秘書を政治資金規正法違反の罪で略式起訴しました。配川秘書は2016年から去年までの4年間、参加者の会費収入や安倍氏側が補填した分の支出など併せておよそ3000万円を政治資金収支報告書に記載しなかった罪に問われています。先月疑惑について記者が問いただすと」

記者「前夜祭の費用を一部事務所が負担していたと本当ですか、収支報告書に書いていなかったのはなぜですか、違法性の認識は。」

ナレ「配川秘書は即日罰金100万円を納付しました。一方特捜部はこれまでに安倍氏本人からも任意で事情を聞いていましたが、嫌疑不十分で不起訴としました。安倍氏を不起訴とした理由について特捜部は収支報告書への記載はおもに秘書が行っていて安倍氏が関与、共謀したと証拠を得ることができなかった、と説明しています。元特捜部検事の高井弁護士は。」

高井康行（元東京地検特捜部検事、弁護士）「会計責任者に色々指示をしたとか、会計責任者に色々報告を求めている、例えばその不記載を了承したとか、そういうような関係があれば政治家本人も起訴できるわけですね、メールが残っているとメモが残っていれば、それはギリギリ行きますよ、いくら相手が安倍前総理でも。物証がない限りは無理ですよ。」

ナレ「安倍氏は今夜の会見で事実と異なる答弁が繰り返された原因について。」

安倍晋三「まあ真実についてそこで私に話してもらえればですね、そこで政治資金収支報告書を訂正するという事になったわけでありまして、こうした事態にはまずならなかったということではないのかなと、あのもちろん国会です、私が事実と違うことを述べるということにももちろんならなかったということでもあります。」

ナレ「安倍氏はあくまで秘書から説明がなかったためと釈明しました、またこれまでホテル側からの明細書はなかったと答弁してきたことについては。」

安倍晋三「私の事務所に確かめた所、その明細書は残っていないということでありました。まあホテル側はですね、明細書と請求書ですからおそらくそれを持って、まあ2枚紙か何枚かわからないんですが、そうした形で渡しているということをホテル側がもし言っているということ、それはもしそうであればそういうことだったのかもしれない。」

ナレ「安倍氏側が補填した前夜祭の費用の原資について問われると。」

安倍晋三「日々の支出が発生するプライベートに近いものについては私的に出す、そうした手持ち資金としてですね、事務所に私が預けているものの中から支出をした。」

ナレ「安倍氏個人の資金の中から当てたと説明しました。責任をとって議員辞職をする考えがあるかと問われた安倍氏は『初心に立ち返って全力を尽くすことによって職責を果たしていきたい』と述べるに留めました。これまで安倍氏の答弁が正しいと話していた菅総理は。」

菅義偉（首相）「事実と異なる答弁に私自身もなってしまった、このことについては国民の皆さんに大変申し訳ない、このように思っています。」

記者「同じ政治家として安倍前首相はどのように責任を取るべきだとお考えですか。」

菅義偉「あの、今総理は、安倍前総理は説明をしているんじゃないでしょうか。」 "

"ナレ「一方、自民党の二階幹事長は今回の不起訴処分によって前夜祭をめぐる一連の問題は一区切りついたとの認識を示しました。」

二階俊博（自民党幹事長）「我々としては一区切りついたかつかんかというかついたとは思ってますからね。」 "

"ナレ「安倍氏の地元、山口県下関市では様々な声が上がっています。」

地元有権者 A「忙しかったでしょ、だからやっぱり嘘はっていないと思います、正直な方だから。いつかわかるんじゃないですか。」

地元有権者 B「秘書から聞いていなかったと済ますようであったら、ちょっと下関の人として、今まで私も安倍さんを推してきた人であるだけです、ちょっと恥ずかしいですね。説明責任はありますのでね、だからそれだけきっちり果たしていただきたいですね。」 "

"ナレ「SNS 上では安倍氏の不起訴処分に抗議する旨の投稿が午後 10 時の段階で 20 万件を超えています。捜査を尽くして欲しい。今日夕方こう訴えのは安倍氏らに対する告発状を提出している弁護士らのグループです。」

泉澤章（弁護士）「秘書のほうがですね、安倍前首相に言われましたなんていうわけがないわけであって、安倍前首相から聞いてもですね、私は関与していませんというふうに一言言われればそれで終わってしまうというふうな聴取というように私たちは見ざるをえない。」

ナレ「弁護士らは処分を不服とし、検察審査会への申し立てを検討しています。」

泉澤章「秘書だけをとかげの尻尾切りで終わらせるのは、まあこれはやはり大問題だろうというふうに思います。」 "

ナレ「安倍氏は明日、事実関係を国会で説明するとしています。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「桜を見る会をめぐる問題は番組でも報じ続けてきましたけれども、改めてこの問題が浮き彫りにするものとはなんなんでしょうか。」

星浩「ええ、私は端的に言って、この 7 年 8 ヶ月続いた安倍一強政治の負の部分だと思いますね、ええ、桜を見る会のその公私混同に対して自民党の中から諫める声も出ない、野党が追及してもね、数の力で抑え込んじゃう、ということだと思いますね、権力が腐敗するとこういう事が起きるんだ、ということを私たちは目に焼き付けていたほうがいいと思いますね。」

小川彩佳「そうした中で今回の安倍前総理の不起訴処分を受けて二階幹事長はこれで一区切りついたという認識だと、これで一区切りなんですか。」

星浩「いや、まあ今日の記者会見を見る限り到底その一区切りどころではないですね、今後のことを考えると例えば検察審査会というのがありまして、必ずこれおそらく審査会に提起があるでしょうから、市民団体が提起したものを検察審査会が調べて、市民目線で判断するということが一年くらいかかると思いますね、それからその政治責任ですけどもそのそもそもこの前夜祭の翌日の桜を見る会の本体に後援会の人 800 人の人を招いていたわけなんですね、これ公私混同の最たるものでしてその問題をどうするかという話はまだ、どういう責任を取るか出ていないですよ、それからいつも、既に何度か取り上げていますが国会で虚偽答弁 118 回、この国会に対する責任をどう取るか、安倍総理は責任はあるある言うんですけども責任をどう取るかを明確にしてもらいたいですね。」 "

このトピックについて当てられた時間は 645 秒だった。

星キャスターいわく「今日の記者会見を見る限り到底その一区切りどころではないですね、今後のことを考えると例えば検察審査会というのがあります、必ずこれおそらく審査会に提起があるでしょうから、市民団体が提起したものを検察審査会が調べて、市民目線で判断するというので一年くらいかかると思いますね」とのことであり、これは番組としてこの問題は取り上げ続けるという雄弁な意思表示なのだろうが、文明社会たる法治国家である日本では「無罪推定の原則」があるのだから、この大原則から逸脱しない報道となっているのか、ということについては今後も注視が必要と言えるだろう。

・新型コロナ：結論→年間通じて問題あり

小川キャスターの「さて続いては新型コロナウイルスをめぐるニュースです。今日も新たな感染者、そして重症者が過去最多を更新しました。村瀬さん。」とのコメントおよび村瀬キャスターの「はい、午後 10 時半現在で全国の感染者は 3725 人で東京神奈川千葉埼玉や愛知京都などで過去最多となっています。東京は 888 人で、10 日連続で曜日ごとの過去最多を更新しています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられた。

"村瀬健介（報告）「今日はクリスマスイブですけれども登用新橋の駅前ではライトアップが行われていまして、こうして沢山の人が集まっています。」

ナレ「今年も残す所あと一週間あまり、飲食店にとっては苦渋に満ちた一年でした。」

藤嶋由香(ホルモンユカちゃん店主)「店をたたむっていう選択肢もあるんですけども、やっぱりここまで頑張ってきたことを一生懸命つなげていきたいので、とにかく稼ぐって言うより生き残るっていうことに立ち向かった一日一日でした。」

ナレ「飲食店が気にするのは新型コロナウイルスの特別措置法を改正するかどうかの行方です。特措法を巡っては都道府県知事から改正を求める声が上がっています。」

"小池百合子(東京都知事)「現時点でも例えば神奈川の知事が仰っていました、『今、2 割の方しか応じていただいていないのが現実です』と。」

ナレ「その内容とは飲食店の営業時間の短縮要請を行う際に応じる店舗への財政的支援のほか、応じない店舗への罰則規定の明治などです。」

菅義偉「必要なことであれば躊躇することなく、そこは次期国会に提出をして成立をさせたい、このように思います。」

ナレ「なぜ飲食店ばかりが槍玉に上がるのか、別の飲食店は抑えきれない胸の内を語ります。」

チョコさん(餃子やガウでいオーナー)「法律で決められたら、もう仕方がないからそこに抗ってもしようがないし、罰金取られてまで営業してもしょうがないから、その代わり絶対減るの？って思いますよね。」

ナレ「今日、午後行われた東京都のモニタリング会議では年末年始の医療体制に強い危機感が示されました。」

猪口正孝(東京都医師会副会長)「年末年始に休日体制となる医療機関の許容範囲を超え、医療提供体制の深刻な機能不全や保健所業務への大きな支障の発生が予想されます。」

ナレ「専門家の指摘が現実のものになってしまうのでしょうか。第一波、第二波、第三波と新規感染者数が増加していく中で東京都は今日、過去最多となる 888 人に達しました。」

"小池百合子「どうぞ、今日は今夜はお家で静かにサイレントナイト、これをお過ごしを頂きたいと思います。」
ナレ「都の専門家会議のメンバーで杏林大学病院、高度救急救命センター長の山口芳裕教授。現在の医療提供体制をこう説明します。」

山口芳裕(杏林大学病院高度救命救急センター長、教授)「もうきれいごとではなくてですね、都内の重症病床は本当に満杯に近い状況になってきています、特に重症病床につきましてはほぼほぼそのどなたかが人工呼吸器から外れないと、あるいは亡くならないとそのスペースが空かないという事態にまでなってます。」

ナレ「新型コロナ感染者が増えれば必然的に通常医療にも支障をきたす。構図としてとてもシンプルでありながら国民に伝わっていない、そこに強い危機感をつのらせています。」

山口芳裕「最終的には病院に搬送すればなんとかなる、何らかの形の医療を必ず受けられるという信頼を得てきたと思いますが、今回はそうではない。今回は申し訳ありませんが、その後期待には答えられない、そういう事態だということをぜひご理解いただかなければいけない、と。」

"ナレ「直面する厳しい局面を乗り切るためには行政からの強いメッセージの発信が必要だと山口教授は指摘します。」

山口芳裕「気の緩みでこうした事態を招いているかのようなですね報道をされますけれども、それはあの違うと思いますね、この 888 の主たる原因ではないですね、これは政府がですね明確な強力な判断で国民を正しい方向へ導く、そうした覚悟をきちっと示さないことにはこの事態は収まらないと私は信じています、勝負をしながら、まだ GoTo を延期するというようなメッセージと一緒に混在してしまうとこれは勝負なのか和睦なのかかわからないじゃないですか。ですから勝負というからにはキッチリと責任ある勝負をしていただきたいし、そういう姿勢を見せていただきたい、それでなければこの感染症は収まらない、制御できないと思います。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「勝負というからには責任ある勝負をしていただきたいという強い言葉ですけれども、その政府の勝負次の一手は飲食店という」

星浩「そうですね、先日のインタビューでも菅総理は今後の感染対策の柱は飲食店の営業時間の短縮だと言っていたんですけども、その飲食店の側からすると経営のこともありますからね、簡単に応じるというわけにも行かない面もありますよね、そこで政府は今、その特措法の改正が浮上してしまっていて、強制的に罰則を設けてその代わり給付金を増やそうということなんですけれども、実はこれ野党が早くから提案していたものなんです、政府側が早くからこれに応じていればですね今年の秋にでも実現していた話なのでまあ遅きに失した判断ということですし、むしろその政府がいかに危機感がないのかということ露呈する形になってしまっていると思ひ明日ね。」

小川彩佳「第二波と第三波の間にやっておけばということですよ。」

星浩「はい。」

このトピックについて当てられた時間は 426 秒だった。

山口教授が「最終的には病院に搬送すればなんとかなる、何らかの形の医療を必ず受けられるという信頼を得てきたと思いますが、今回はそうではない。今回は申し訳ありませんが、その後期待には答えられない、そういう事態だということをぜひご理解いただかなければいけない、と。」とコメントしていたが、「病院に搬送しても医療を受けられない」という認識の上で、それでは回復への期待値なり支払能力なりで医療資源を振り分けてい

く、という方法もあるはずであるし、そもそも医療関係者から見て、国民が非協力的に映っているとすれば、国民の側がもはや自分たちの経済社会活動を犠牲にしてまで「最終的には病院に搬送すればなんとかなる、何らかの形の医療を必ず受けられる」という現行の医療供給体制の維持するのではなく医療資源の配分を改めてくれ、というように考えている国民も少なくないのではなかろうか、というように見えなくもない。

この一年間、コロナについての報道は注視し続けてきたがどうにも「現行の医療供給体制」および現行の「社会保険制度」を維持することが前提とする上での経済社会活動の抑制という論調で報道が構成されていたきらいが多分に見受けられる。

そうした意味では、年間通じて、コロナについての報道は放送法第四条四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に照らして問題であると言えるし、開業医の利益団体である日本医師会や東京都医師会の意見を過剰に取り上げていたという点では同二号「政治的に公平であること」に照らしても問題であると言える。

・日本学術会議：

山本キャスターの「国から切り離して独立が検討されている日本学術会議について担当大臣と梶田会長らが会談し、来年4月以降に判断することで合意しました。」とのコメントを受けて、VTRが取り上げられるとともにナレーションによって「井上大臣は今日午後、梶田会長らと会談し、現行の設置形態にこだわらずフラットに検討することを求める、など、政府の考えを示しました。これに対し、梶田会長は具体的な改革案について会員の意見を聞き、4月の総会を経て改めて報告したいと応じました。井上大臣は学術会議側の最終報告を待って、政府として判断するとしています。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は46秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・黒川検事長の処分：結論→特に問題なし

黒川検事長の処分についてVTRが取り上げられるとともにナレーションによって「掛け麻雀の元検事長に起訴すべきとの議決です、黒川弘務元検事長は賭博などの疑いで刑事告発されていましたが、東京地検は不起訴処分としていました。しかし、検察審査会は規範意識は鈍麻していて社会に与えた影響は大きいなどと指摘し、黒川氏を起訴相当と議決、東京地検は再び捜査をおこない起訴するかどうかを改めて判断することとなります。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は33秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・桜を見る会

星キャスターが「それからいつも、既に何度か取り上げていますが国会で虚偽答弁118回」と118回という回数を強調していたが、見解やアイデアを問うような質問ではなく事実認識を問う質問であれば、認識が変わら

NEWS23 週刊報告 詳細版

ない中で同じ質問を何度したところ出てくる答えは同じに決まっている話で、虚偽答弁 1 回であろうが、118 回であろうが 10000 回であろうが、本質的には全く差はないという話でしかない。むしろ、100 回同じことを聞いて、事実認識が変わっていないにもかかわらず答えが違ってくる、という方が異常であろう。